



消費者情報



カラビナ

発行日 令和2年3月3日

発行者 特定非営利活動法人

新潟県消費者協会

事務局 〒950-0994

新潟市中央区上所2丁目2番2号

新潟ユニゾンプラザ1階

TEL・FAX (025) 281-5558

E-mail n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp

URL http://www.nsyokyo.org/

魅力ある消費者市民社会に向けて行動しよう！



持続可能な社会に
～サステイナブルな取組～



～気になるスポット～

サステイナブルな取組をしている企業（P5）

目次

- 令和元年度 新潟県消費者協会事業報告 2 P
- 「かしこく、豊かに、自分らしく、消費者市民社会を目指して！」 副会長 津野 敏江 3 P
- 「令和2年度通常総会・記念講演会」開催のお知らせ
弁護士による電話相談会
- 地区だより「わが団体の健康お元気さん(3)」 4 P
- 気になるスポット「サステイナブルな取組をしている企業」 5 P
- 「食の安心・安全・五つ星店」と HACCP(ハサップ)について 6 P
- ロングライフ食品(ＬＬ食品)
作ってみませんか！「干しかぶの煮物」
- 消費者トラブルキーワード「固定電話が使えなくなる?!」 7 P
- 安全運転相談窓口のご紹介
- 脱プラスチックへの取組「株式会社バイオマスレジン南魚沼」 8 P

令和元年度 新潟県消費者協会事業報告

<協会事業>

下越地区講演会「見守りネットワークを考える」

講師 弁護士 堀田 伸吾 氏 令和元年 10 月 25 日 新発田市社会福祉協議会ボランティアセンター 参加 58 人

消費者安全法の改正で、高齢者や障がい者を守るために本人の同意がなくても個人情報共有できる「見守りネットワーク」を設置することが可能となり、既存の福祉ネットワークに消費者部門が加わり広がっているとのこと。

講演後の意見交換では、各消費者協会から地元の見守りネットワークの設置状況の報告があり、講師より「地域に応じた形で機能すればよく、また、当協会会員は消費者のリーダーでもあるので、市民としての見守りにも期待する」との助言がありました。



講演の後に講師と意見交換を行った

中越地区講演会「プラスチックごみによる海洋汚染の現状」

講師 東京海洋大学名誉教授 兼廣 春之 氏 令和元年 10 月 31 日 まちなかキャンパス長岡 参加 63 人



実物を見せながら材質の違いを説明

使い勝手がよく身近にあるプラスチック製品ですが、年間 480～1270 万トン(2010 年)がごみとして海に流出しており、世界的な環境問題となっています。特に問題視されているのが、マイクロプラスチック(5mm以下のプラスチック)で、生物の誤飲による物理的な障害のほか、化学物質による毒性の影響も懸念されています。

マイクロプラスチックの一種、マイクロビーズは化粧品や歯磨き粉などにも含まれており、家庭から下水処理施設を通過して川や海へ流れ込んでいるとの話に驚きました。日本も含め各国で、マイクロビーズやプラスチック製品の使用・販売の規制、生分解性プラスチックの開発が進んでいますが、参加者からも「まず、自分たちがプラスチックの使用を減らす努力が必要」との声が強く上がっていました。

クリーニング懇談会「クリーニングのプロに学ぶ 衣類のお手入れ」

講師 新潟県クリーニング生活衛生同業組合 副理事長 大越 幸一 氏 副理事長 若井 尚史 氏 令和 2 年 2 月 19 日 アオーレ長岡 参加 34 人

家庭での洗いのポイントとして、水洗い可能なものは家庭で洗濯できますが、繊維と洗剤の相関関係が重要で、温水で洗うと効果が高いとのことでした。

型崩れしない干し方や縮んだウールの補正の仕方の解説、口紅や襟の汚れ落としの実演もあり、参加者から「目からうろこの連続だった」「改めて衣類の表示を確かめたい」などの感想があり好評でした。



口紅のシミ抜きの実演

団体代表者と団体賛助会員との懇談会

「SDGs を事業・活動に取り入れるヒントを見つける カードゲーム「2030 SDGs」体験会」

講師 認定 NPO 法人新潟 NPO 協会 代表理事 石本 貴之 氏 令和 2 年 3 月 3 日 新潟ユニゾンプラザ

<受託事業>

令和元年度 消費生活サポーター養成講座

令和元年 10 月 24・31 日、11 月 7・14・21・28 日 新潟ユニゾンプラザ 受講者 45 人

法律や悪質商法被害の現状、啓発講座の組立など、全 6 日の養成講座を開催し、27 人の新しい消費生活サポーターが誕生しました。受講者の皆さんは、ボランティア活動されていたり、消費者問題に興味のある方が多くとても熱心に受講されていました。

12 月 20 日には、新しいサポーターと現在活動しているサポーターとの情報交流会を開き、今後の活動に向けて情報交換や親睦を深めました。



グループに分かれて啓発講座の企画づくり

サポーターだより vol 11

令和 2 年 2 月 10 日発行



かしこく、豊かに、自分らしく、消費者市民社会を目指して！

特定非営利活動法人新潟県消費者協会 副会長 津野 敏江

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、公正で持続可能な社会の実現を目指し、17の目標を掲げています。現在、各国が実情に応じた施策を推進していると思いますが、日本においても消費者庁はじめ各自治体及び多くの企業・諸団体が様々な取組に着手しています。本県では、これまでも当消費者協会及び17団体の正会員の皆様が多様な活動を継続的に展開してきているところです。

エシカル消費の普及・啓発活動、食品ロス、高齢消費者・障がい消費者見守りネットワークの推進…等々。私たちを取り巻く安全で安心な生活環境づくりは一人ひとりの意識の持ち方、できる範囲で具体的な行動を起こすことで可能となります。

昨年、経費節減のため我が家のデジタル回線を一本化しました。信頼のおける業者に相談し納得しながら進めました。ところが、数か月経ってもわずかばかりの通信料がX社から引き落と

されるのです。照会してみると、解約手続きが一部なされていないとのこと。私自身は音声ガイドに従って手続きをし、メモも時系列でしっかりと残しておきました。原因は複雑な契約システムにあり、解約は一つ一つに対応する必要があるとのことでした。自身の理解不足と言われればそれまでですが、音声ガイドの不明瞭さもありますし、膨大な利用規約の解説を期待されても困難な利用者は沢山いると思います。

対応された電話口の方に、もっと分かりやすい説明とアフターケアへの改善をお願いするとともに、当協会としても引き続き関係機関へのお願いと、消費者啓発活動の必要性を一層実感した体験となりました。

活動テーマ「魅力ある消費者市民社会に向けて行動しよう！」、重点目標「一人の力が社会を変える。気づいて、つないで、輪を広げよう」を合言葉に、かしこく、豊かに、自分らしく生きていきたいものです！

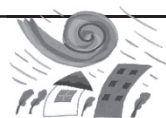
「令和2年度通常総会・記念講演会」開催のお知らせ

- 日時 令和2年4月27日(月)
通常総会 13:00～14:20
記念講演会 14:30～16:00
■ 会場 新潟ユニゾンプラザ 4F大研修室

<記念講演会>

「新潟県内の自然災害のリスクと対策」

新潟大学 災害・復興科学研究所
准教授 渡部 直喜 氏



「この契約って、おかしくない？」と感じたら情報をお寄せください！！

弁護士による電話相談会

NPO法人消費生活ネットワーク新潟では、商品やサービスの契約の際に、一方的に消費者が不利な契約条項、紛らわしい広告表示を誤解し契約したなどの情報を収集し、問題のある場合は、事業者に規約や表示などを改めるよう申し入れをしています。

消費者問題に詳しい弁護士が対応する無料電話相談会を開催します。「この契約って、おかしくない？」と感じていることがありましたら、情報をお寄せください。

<問合せ先>NPO法人消費生活ネットワーク新潟 TEL 025-384-4021

日時 令和2年3月11日(水)

午後3時～午後7時

相談方法 電話相談・無料

(通話料は相談者の負担となります)

電話番号 025-384-4021

(相談は当日限り) 025-284-3915

<相談例>

「糖尿病や高血圧、内臓の老化を防ぐ」と書いてある健康食品のチラシ。薬ではないのに、効能をうたっているの？

会員募集

新潟県消費者協会では、賛助会員を募集しています。会員には、当協会発行の消費者情報「カラビナ」、各種講演会等のご案内、消費生活に関する情報をお届けします。お近くの地域の消費者協会のご紹介もします

※入会を希望の方は、新潟県消費者協会事務局までご連絡ください (Tel 025-281-5558)

新入会 団体賛助会員のご紹介 一般社団法人 健康ビジネス協議会 様

- 個人賛助会費 2,300円
- 団体賛助会費 一口5,000円 (2口以上)

地区だより

- 新潟県は健康づくりの県民運動「ヘルスプロモーションプロジェクト」を推進しています。今年は各協会の健康でお元気な会員さんに
- 登場していただき、日ごろの健康管理や元気の秘訣を伺っています。
- 3回シリーズの第3回をお届けします。 (事務局)

わが団体の健康お元気さん (3)

◆仲間と楽しく物づくり

柴田 春並さん^{はるなみ} 南魚沼市消費者協会

傘寿を迎えたお仲間たちと、余り布や毛糸など工夫してリサイクル手芸を楽しんでいます。「バックや靴下、牛乳パック椅子などいろいろ作り、

完成したときの喜び、もらってくれた人の嬉しそうな姿がなにより元気の素」と話されていました。



◆人間は機械と同じ

八子 迪子さん^{やこ みちこ} 新潟市消費者協会新潟支部

健康のために心がけていることは、まず体を動かす機会を作ることです。人との出会いや会話から、脳に刺激ももらえます。音楽活動でハーモニカを担当しており、食事は手料理、野菜作りも楽しみの一つ。信号待ちに、かかと落としの運動をしています。

人は機械と同じで使わなければ錆びてしまう。出会いに感謝して過ごせるのが一番の健康法。



◆花咲か ばあさん

中澤 初美さん 十日町市消費者協会

遠くなった母の味を懐かしみながら、甘酒を作って楽しんでいましたが、専門家から発酵食品文化のお話をうかがい、ますます甘酒づくりに精をだしています。発酵食品を食べることにより腸内環境が整い、びっしりと存在する腸内細菌がまるで色とりどりの花が咲き乱れるお花畑（フローラ）のようになり「自然治癒力」がUPするとのこと。

♪腸内に花を

咲かせましょう♪



◆元気の元はメリハリのきいた生活

長谷川 春江さん 新潟市消費者協会巻支部

和裁を生業としながら、巻支部の理事として活躍。一方で趣味の日本舞踊の腕をみがき、今では地域の人々に披露して、楽しませてくれています。和裁仕事の合間に、義母直伝の野菜作りに精を出し、土に触れる楽しみも味わっています。



◆元気の源は仲間から！

富井 雅子さん 見附市消費者協会

お花が好きな富井さん。長年、山野草の会の皆さんとトレッキングしたり、作品展に出品したりと活躍されています。

「仲間とワイワイ言うのが楽しみ、元気をいただく事ばかり」といつも前向きで笑顔のステキな方です。



◆趣味の折り紙は近所の子供たちも喜んで！

藤井 准子さん 村上市消費者協会

健康の秘訣は3食きちんと食事を摂ること。献立も、魚を多く肉は週に2回程度、野菜は毎日と工夫しています。

デイサービスのボランティア活動に毎月参加。「お茶を出したり、利用者との会話も楽しいですよ」と、優しい笑顔で話されていました。消費生活サポーターとしても大活躍です。



《気になるスポット》 サステイナブルな取組をしている企業

長岡と柏崎にあるサステイナブル（持続可能という意味があり環境に配慮した活動）な取組をされている企業を取り上げました。（編集委員 中村文子・山本ヒサ）

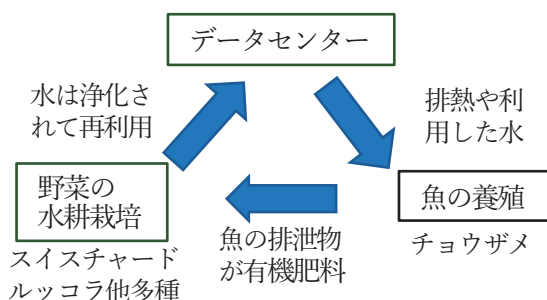
株式会社プラントフォーム 長岡市上前島 1-1863

＜寒冷地型データセンター＋アクアポニックス農法＞

隣接するデータセンター（株式会社データドック）から創出される余剰エネルギー（雪冷熱・地下水・IT機器の排熱）を利用した水を循環させて、アクアポニックス農法に有効活用し、令和元年8月から稼働しています。

＜アクアポニックス農法とは＞

水耕栽培と水産養殖を同時に行う、次世代の循環型有機農法です。野菜を無農薬・無化学肥料で栽培でき、従来の水耕栽培に比べ生産性が高くコストも低いため、収益性が高い農法です。



チョウザメが養殖されている水槽。3年で雄を、8年で雌をキャビアとともに出荷します



栽培されている野菜（スイスチャード） 無農薬の有機野菜はレストランや道の駅（豊栄）に出荷されています。いろいろな野菜を試食すると、アクがなくドレッシングがなくてもサラダとしておいしく食べられました



お話を伺った 代表取締役 CEO 山本祐二さん

＜今後の展望＞

- ・付加価値のある新しい野菜に挑戦する。
- ・養殖と栽培で収集したデータを活用したノウハウを他の企業に提供して、若い農業従事者の定着と収益性のあるアクアポニックス農法を広める。

＜感想＞ 野菜は土で栽培、魚は天然物とこだわるのではなく、水耕栽培や養殖魚の良さを知り消費者も変わらないと、農業や漁業従事者の減少や気候変動の中で、持続可能な社会が形成されないのではないかと考えさせられました。

シモダ産業株式会社 シモダファーム（バナナ農園）

柏崎市松波 2-6-43 TEL 0257-23-5240



3列に植えられている苗 温度の関係でハウスの中央にある苗の成長が早い



「循環」をテーマに、柏崎の夕日や花火をイメージした「越後バナナ」のロゴ



お話を伺った左から、管理部部長石坂成規さん、環境営業課課長霜田久子さん、農園管理者猪股弘士さん

＜事業内容＞

本業は鋳物砂・鋳型製造で、産業廃棄物処理事業もしており、焼却の排熱で出る温水を利用したサステイナブル事業としてバナナ栽培をしています。

＜シモダファーム＞

令和元年8月から焼却時の排熱を利用したサーマルリサイクルの一環としてバナナ栽培を開始しました。高級品種の「グロスミッシェル」を農薬を使わず樹上完熟させて収穫します。2つのハウスに200本苗が植えてあり、ハウス内の両側と地中には24時間稼働する焼却炉からパイプで送られた温水が循環して

います（夏は不要）。約9か月で収穫でき、苗の生育に個体差があるので、収穫に差が出て出荷の持続に都合がいいそうです。商品名は「越後バナナ」で、今年6月頃が初出荷です。

＜今後の展望＞

地域おこし事業として、地元老舗菓子店等とのコラボを考えています。今後、古皮や葉は紙の原料にする予定です。

＜感想＞ 1本800円からと高めですが、市販の味とは違う完熟のバナナを食べてみたいと思います。

★「食の安心・安全・五つ星店」とHACCP(ハサップ)について★

オリンピックを控え、グローバル化は食品業界にも及んでいます。2021年6月までに全ての食品事業者は、食品衛生管理に関する国際基準であるHACCPに沿った衛生管理が義務づけられます。今回、HACCPへの取組みを新潟県食品衛生協会にお伺いしました。

HACCPは一言でいえば、衛生管理工程の「見える化」です。食品の仕入れからサービス提供までのすべての工程で、特に厳重に管理することなどを日々記録し、安全性を確保します。万が一事故が起きた際は、記録をもとに迅速に原因究明と改善ができ、企業イメージや信頼度の向上につながります。県食品衛生協会の会員は、衛生管理の記録をとっている事業者が多いこと。また、安全・安心な食品を提供できるよう

日々衛生管理対策を行う新潟発祥の「五つ星プレート※」項目には、食品衛生管理記録の実施も含まれています。五つ星店では、HACCPの導入はそれほど難しいことはないとお聞きし、安心しました。

お店選びの目安になるプレート



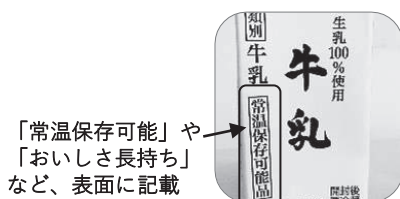
HACCP型プレート



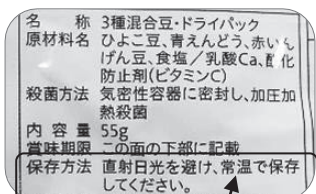
※五つ星プレート

- ☆従業員の健康管理
- ☆食品衛生管理記録簿
- ☆食品衛生講習会受講
- ☆衛生害虫等の駆除対策
- ☆食品賠償責任保険加入

ロングライフ食品 (LL食品)



「常温保存可能」や「おいしさ長持ち」など、表面に記載



表面には明記されてなくても、保存方法に常温保存と記載

災害に備えた食糧備蓄の関心や、廃棄される食品に賞味期限切れで捨てられる食品が多いことから、昨今、本来の風味を損なわずに長期保存できるようにした「ロングライフ食品」が注目されています。ロングライフ食品に法的定義はないですが、数か月以上の賞味期限がある商品に対して使用されています。

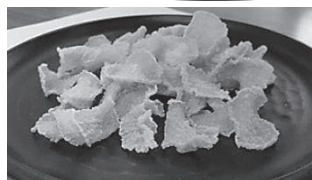
保存料を使用しなくても、高温・高圧による殺菌、気密性や遮光性に優れた容器、無菌状態での充填などの技術進歩により、長期保存を可能にしています。

市場に出ているのは、牛乳・豆腐・惣菜・パンなどです。全てを食したわけではありませんが、味は変わらないと思います。スーパーなどで一般的に売られているので、みなさんも一度食べてみませんか？

(編集委員 中村文子)

作ってみませんか！

干しかぶの煮物



干しかぶ

秋にたくさん採れる大根を干して保存しておき、冬に新潟の家庭でよく作ります。大根は3ミリくらいの輪切りにし、天日で干して乾燥させます。ゆでてから干すと、料理するとき味が良くなります。材料は大根ですが、料理名には「かぶ」がつきます。由来はよくわかりません。いろいろな野菜を入れて煮るとおいしくなります。

(編集委員 藤田純子)

〈材料〉干しかぶ(干した大根)、油揚げ、人参、じゃがいも、こんにゃく、車麩など

〈作り方〉

- 1 干しかぶは、あらかじめ水で戻す。
- 2 野菜や油揚げ等を、適当な大きさに切る。
- 3 だし汁を沸騰させ、硬い材料から入れて煮ていく。
- 4 野菜がやわらかくなったら、砂糖、しょうゆ、酒、みりんで味付ける。

干しかぶの煮物



「固定電話が使えなくなる?！」

NTT 東日本㈱では、2024 年 1 月に固定電話の回線を、アナログ回線から光回線に切替える予定です

◇回線の切替工事が必要なわけ

電話機の主役は携帯電話となり、固定電話を契約していない家庭が増え、2013 年には携帯電話は固定電話を追い越しました。世界的にも同じ傾向で、固定電話のアナログ回線で使用されている交換機の製造も減り、2025 年には一部寿命を迎えるものがあり、その前に電話局の設備を大幅に変更することになりました。

◇利用者側の切替えにともなう工事や手続きは一切不要です

- ★ 自宅内の回線工事を行う必要はない
- ★ 固定電話機はそのまま使える
- ★ 切替に伴う手続きは一切不要

基本料金は変わらず、通話料金は全国一律となり、遠距離の電話料金は安くなるようです。

設備の切替工事に便乗した

電話勧誘や訪問販売に注意！

電話局内の工事のため、一般の家庭では何もしなくてもよいはずなのに。。

「この辺り一帯で回線の切替工事があり、固定電話が使えなくなるので、〇〇の光回線に切替えませんか？」

このような話がきたら、きっぱり断りましょう



<対策>

わからなければその場で返事をせず、家族、NTT 東日本㈱、消費生活センターに相談しましょう。



理想の住まいと出会うために、不動産広告はしっかりと確認しましょう。



現在、全国で約13万社の不動産会社が公正競争規約に参加しており、会員の店頭にはこのマーク(首都圏の場合)が掲示されています。



公益社団法人 首都圏不動産公正取引協議会
TEL:03-3261-3811 <http://www.sfkoutori.or.jp>

不動産公取協

検索

安全運転相談窓口 のご紹介

都道府県警では、加齢に伴う身体機能の低下や、体の障害、一定の症状を呈する病気等により安全な運転への不安がある方やその家族の相談窓口を設けています。

運転免許の取得や更新が可能か、安全運転に必要な助言や指導などの相談を行っています。また、運転免許の自主返納の相談もでき、返納後の身分証明書となる「運転経歴証明書」の交付、市町村の返納後の支援内容の紹介等も行っています。

●全国統一の安全運転相談ダイヤル

「#8080」(シャープ ハレバレ)

●新潟県安全運転相談窓口(平日 8 時半～17 時)

運転免許センター高齢運転者支援室 適性係

電話 025-256-1212(代表)

編集後記 令和という新しい時代から 2 年、同時にカラビナも 160 号という節目を迎えました。編集内容で考えることは、時代にマッチしたホットな話題や報告を載せたいということです。今回、お米から作るプラスチックの実用化は、環境問題の解決に一石を投じているような気がします。最近、明らかに環境の変化による気候変動が起きている実感がします。災害もなく無事に過ごせる1年であることを祈ります。(編集委員 藤田純子)

《 脱プラスチックへの取組 》

国産新素材のプラスチックを製造・販売

株式会社バイオマスレジン南魚沼

南魚沼市寺尾 1300

電話 025-775-7155

http://www.biomass-resin.com



プラスチックごみによる海洋汚染が広がり、海洋生物の生態系を脅かしている実態が明らかになっています。また石油系プラスチックを燃やすことによって、温室効果ガスが排出され温暖化につながっています。こうした弊害を少しでも減らそうと非食用米などを原料としたバイオマスプラスチックを製造・販売し、SDGsに取り組む会社を取材しました。



お話を伺った専務取締役・経営企画室長の中谷内美昭さん

お米の産地のお米のプラスチック

中谷内さんは仲間と一緒に 20 年も前から、バイオマス（生物由来）資源と樹脂を混ぜたバイオマスプラスチックのアイデアを温めてきました。2017 年 11 月バイオマス資源が豊富な米どころ南魚沼に工場を建設、非食用米などを使ったバイオマスプラスチックの原料を製造、販売及び研究開発を始めました。現在南魚沼市の指定ごみ袋を請け負っています。7 月より店舗ではレジ袋有料化になりますが、バイオマス素材の配合が 25% 以上のものは有料化除外のため、生産拡大に向け取り組んでいます。また日本独自の国産新素材「バイオマスプラスチック」を県外や海外に広めています。



指定ごみ袋・レジ袋

独自の研究・技術

オリジナルの混練技術を開発し、お米などのバイオマス資源から環境に優しいプラスチックを製造

地産地消

米の産地ならではの立地条件を活かし、地域の特産品を使うことで地域活性化、農業振興の発展に期待

SDGs への取り組み

国連が 2030 年までに掲げた持続可能な 17 項目の開発目標「SDGs」の中で、特に『13.気候変動』『14.海洋資源』への貢献を目指している

バイオマスレジン南魚沼のバイオマスプラスチックの特徴

主な原材料	非食用米（余剰米・資源米・廃棄米）や食品メーカーのフードロス食品（餅・冷凍パック米・冷凍うどん・菌床・カカオシェル・茶葉・牡蠣や卵の殻）、木（杉・赤松・ひのき他）、竹など
環境に優しい	焼却時にダイオキシン等の有害ガスが発生しない
地産地消	海外からの輸入にたよらず新潟県内で原材料を調達でき、石油相場に左右されない
低コスト・高品質	トウモロコシ等が原料のポリ乳酸プラスチックより安価で「耐久性」「耐熱性」「加工性」に優れている

バイオマスプラスチックができるまで

独自のパドルパターン（混練技術）



米と樹脂を混ぜて加圧・混練・減圧・脱水を行い、棒状にのばして切ります

完成したバイオマスプラスチック



このツブツブをレジンといい、この状態で出荷されます

バイオマスプラスチック原料の製品

積み木シリーズ

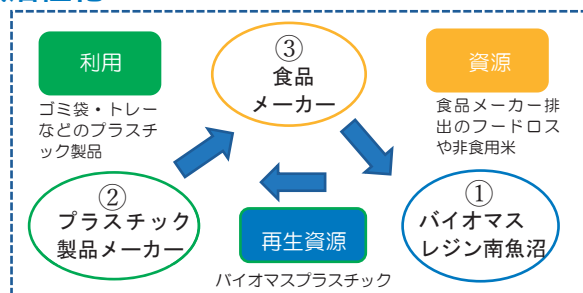


赤ちゃんのおもちゃなど安全性を求められる製品などにも利用がすすんでいます

サーキュラーエコノミー（循環経済）を展開して地域活性化

バイオマスレジン南魚沼・プラスチック製品メーカー・食品メーカーが三位一体となって循環型開発を行い、地域経済の発展を目指しています。

- ① フードロス（食品メーカー排出）や非食用米を資源としてバイオマスプラスチックを製造
- ② バイオマスプラスチックでプラスチック製品を製造
- ③ 食品の包装などに②のプラスチック製品を使用



＜取材の感想＞工場に入るとすぐお米が炊きあがったような匂いが漂い、近くにはすでに小指大くらいのバイオマスプラスチックが出来上がっていました。触ってみるとまだ温かく優しい質感でした。お米等を原料としてプラスチックを作る技術が開発されているとは全く知らず驚きました。

この会社の技術は私達の生活に溶け込んでいるプラスチック製品の削減と、環境問題の改善に貢献しています。石油系プラスチックに比べ価格はまだ高いですが、私達がバイオマスプラスチックの特性を理解し、購入すれば手頃な価格で普及するかもしれません。これからは一人ひとりが「脱プラ」を目指す意識が求められていると感じました。

（編集委員 藤田純子 三浦華林）